

情報公開文書

研究の名称	造血器腫瘍増悪時における生体信号の揺らぎに着目した数学理論(動的ネットワークバイオマーカー理論)の有用性に関する検討
整理番号	
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	富山大学附属病院 血液内科 和田 暁法
研究の概要	<p>【研究対象者】 当院の血液内科(第三内科)及び金沢大学附属病院血液内科を2017年1月以降2024年12月までの期間に受診され、血液のがんが診断された方、もしくは強く疑われる方です。</p> <p>【研究の目的・意義】 特殊な顕微鏡を用いて血液の細胞を観察させて頂き、細胞が出す信号を捉え数学的に解析すること、その際の細胞自体の遺伝子の発現を見ることで、再発や再燃を早期に見つけることが可能か検討します。</p> <p>【研究の方法】 提供頂いた細胞を顕微鏡で観察するとともに数学的な解析を行います。同時に細胞が持っている遺伝子や脂質、表面抗原の発現を解析させて頂きます。</p> <p>【研究期間】 本研究が倫理審査委員会の承認及び富山大学附属病院長の許可を得た後、2025年3月末までを予定しています</p> <p>【研究結果の公表の方法】 研究終了後、成果は学会またが学術雑誌において発表される予定です。研究成果の発表等には、臨床研究の対象者の方個人を特定することが可能な情報は一切含まれません。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	<p>血液や骨髄液の細胞を研究に使わせて頂きます。またカルテの情報(検査データ、診療記録)と比較検討させて頂きます。</p> <p>本研究は富山大学附属病院、和漢医薬学総合研究所で行われます。また、本研究で得られたデータをムーンショット型研究開発制度のデータベースに登録することがあります。</p>
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院 血液内科 和田 暁法
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者(研究主機関における研究責任者氏名)	富山大学附属病院 血液内科 和田 暁法
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 076-434-2315(富山大学附属病院 内科外来) E-mail akino@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 附属病院血液内科 和田 暁法</p>